

⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

ITを活用した圃場管理・栽培施設の新たな農業オペレーションシステムの開発・販売とイチゴ観光農園の事業化

農業の生産性向上や品質安定化をめざし、ITを活かした農業システムの開発・販売と観光農園による国内外への販路開拓に取り組む。

連携体

農林漁業者

(株)シルクファーム(農業者)

(法人番号8270001006656)

ITを活かしたイチゴの観光農園事業に取り組み、生産性の向上を図るとともに、国内外からお客さまを集客・販売する。

中小企業者

(株)ケイズ(情報サービス業)

(法人番号9270001003231)

ITを活用した新しい農業オペレーションシステムを開発し、農業者や農業法人等の生産性向上や作業改善をサポートする。

連携参加者

サポート機関等

(公財)鳥取県産業振興機構西部支部

(独)中小企業基盤整備機構中国本部

連携の経緯

情報通信企業である(株)ケイズは、「農業分野におけるITの導入」「24時間365日のセキュリティ監視」をテーマに、自社のIT技術及びシステム開発のノウハウを、農業の作業改善や生産性向上、品質の安定化に活かすことを考えていた。

一方、市内の「点在する耕作放棄地の再生」や「多様な人材によるユニバーサル就労」をめざす(株)シルクファームは、分散する農地の円滑な管理や栽培技術の確立が課題となっていた。こうした中、両者の支援を行っていた(公財)鳥取県産業振興機構西部支部が橋渡し役となり、本事業に挑戦することとなった。

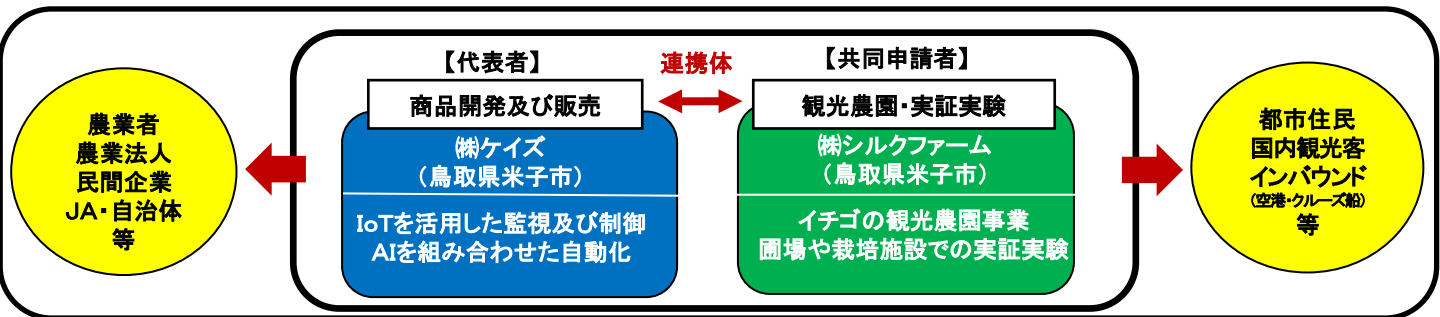


連携に当たっての課題や工夫等

農業者はイチゴ栽培技術の確立と安定供給が課題となっており、中小企業者のIT技術を栽培施設に試験的に導入し、現場での実証実験を通じて、生産性の向上や品質の安定化に資する農業オペレーションシステムの開発に取り組む。

また、飛行機やクルーズ船、鉄道等の交通拠点、県内一の集客を誇る温泉地との近接性を活かして、国内観光客やインバウンドをターゲットに、イチゴの観光農園事業の開発、販売に取り組む。

- 温度・湿度・日照状況・含水率・CO₂濃度等のセンシング、通知
- 作業日誌や観察記録等の電子化、栽培履歴の管理、栽培技術の確立支援
- IoTを活用した水分や肥料の供給、窓の開閉や遮光カーテンの巻き上げ、CO₂の供給等を実施
- AI(人工知能)により天候・環境の変化を自ら判断、作業指示の自動化等により、生産性の向上を支援



連携による効果

農林漁業者

5年で2100万円の売上高・生産性の向上やブランドの創出

ITを導入したイチゴの観光農園事業の開発により、売上拡大及び生産性の向上、観光農園としてのブランド創出が期待される。

中小企業者

5年で1億円の売上高・地域密着のIoT農業カンパニーとしての発信

ITを導入した新しい農業オペレーションシステムの開発により、売上拡大及び自社のブランド力の向上が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社ケイズ

T E L : 0859-32-1761

E - m a i l : naito@kscom.co.jp

所在地：鳥取県米子市両三柳2864番地16

F A X : 0859-34-6003

ホームページ：http://www.kscom.co.jp/